3月定例会 委員会の審査報告

3月定例会中の総務常任委員会、市民環境常任委員会、建設水道常任委員会、文教福祉常任委員会が審査した内容について、その一部をお知らせします。

市民環境 企業立地促進条例の延長を決定

＜地域経済の活性化を図る＞

【審査項目】

●議案第15号　宇治市企業立地促進条例の一部を改正する条例を制定するについて

市から次のとおり説明が行われた。

この条例は企業の立地を促進し地域経済の活性化と雇用機会の創出を図ることを目的に、市内に転入する企業や事業所を移転、新設または増設する企業を対象に助成を行うものである。引き続き市内への企業誘致施策と地域経済の活性化を図るため、施行期限を今年3月末から平成24年3月末に5年間延長する改正を行うものである。

条例が施行された平成14年度から18年度までの交付実績は、交付総件数53件、交付合計額は1億5209万円、交付企業数は38社、雇用創出助成金交付対象となった地元新規雇用者数は41人である。

これに対し委員から、日産車体跡地と槇島地域の助成内訳、市の重要な産業集積地である槇島地域の水道や道路等の基盤が未整備である実態への市の認識、槇島地域の再整備に向けての市の方針、庁内連携やさまざまな緩和措置及び条件整備の必要性、府の制度と市の制度の相違点等について質疑が行われ、本議案は全会一致で可決すべきものと決した。

▶拡幅された目川南北線

総務 源氏物語千年紀委員会設立

＜本市からも職員を派遣し積極的に参画＞

【審査項目】

●報告　源氏物語千年紀委員会ついて

市から次のとおり説明が行われた。

去る1月30日に源氏物語千年紀委員会が設立され、総会が開催された。平成20年に源氏物語が記録の上で確認されてから千年を迎えることから、有識者の方々からの多彩な取り組みを展開されるようにという呼びかけを受け、京都府・京都市などと連携して設立されたものである。本市から委員に市長・観光協会会長、特別委員に商工会議所会頭が就任されている。当日、源氏物語千年紀委員会設置要綱案が審議され、原案どおり可決された。(財)京都文化交流コンベンションビューローに設置された委員会は、その下に源氏担当部（チーム源氏）が実務体制として組織される。本市からも職員を派遣し、積極的に参画してまいりたい。

これに対し、千年紀後どのように宇治市の観光事業に継続していくのか、宇治市段階で市民参加をどう保障するのか、コンベンションビューローはどういう組織なのか、宇治市から派遣される職員の職層、派遣先の部署、千年紀事業の規模・予算、日常的な事務局の場所等について質疑が行われた。

▶源氏物語ミュージアムに展示されている牛車

建設水道 宇治駅周辺地区のバリアフリー化へ

＜すべての人が安全・安心・快適に活動できるまちをめざして＞

【審査項目】

●報告　宇治駅周辺地区交通バリアフリー基本構想の公表について

市から次のとおり説明が行われた。

2月9日開催の第5回基本構想策定委員会で最終取りまとめた基本構想を公表することになった。今後の取り組みとして、基本構想に基づき、公共交通事業者・道路管理者及び公安委員会が事業計画を作成し、順次事業を実施していくことになる。市としては、事業者や市民と連携をとり、バリアフリー化事業推進のための連絡会を設置し、地区のバリアフリーに取り組んでいきたい考えである。

また、従来の特定経路と準特定経路の表現をバリアフリー新法の表現に合わせて、主要な生活関連経路とその他の生活関連経路に変更した。

これに対し委員から、バリアフリー化事業計画の目標年次短期・中長期事業の具体的な実施時期、仮称宇治市バリアフリー推進連絡会の具体化と構成メンバー、平成19年度予算化の事業、各事業者の計画、事業計画と予算の整合性、主要バス停の休憩施設の整備、ベンチの設置などについて質疑が行われた。

▶JR宇治駅のエスカレーター

文教福祉 学校図書館と市立図書館の連携を強化

＜学校に対する団体貸し出しを開始＞

【審査項目】

●報告　学校図書館と市立図書館の連携について

市から次のとおり説明が行われた。

「学校図書館と市立図書館の連携についての指針」は、学校図書館蔵書のデータベース化を進め、学校図書館相互及び学校図書館と市立図書館との相互の蔵書検索が可能となる資料ネットワークシステムを構築する。それにより、子どもの読書活動の推進を図り、子どもが主体的に学ぶ力をはぐくむとともに、子どもが生涯にわたって読書習慣を形成することを目指している。そこで現時点での可能な連携手段として、平成19年4月から、学校に対する団体貸出を開始する。また、学校図書館と市立図書館との連携についての情報交換、連絡調整等が不可欠となるため、「学校図書館と市立図書館の連絡会」を設置し、子どもの読書活動推進のため両者が継続して取り組みを進めていく。

これに対し委員から、連絡会の開催予定、連絡会のメンバー構成、各学校から出された意見の連絡会での取り扱い、学校図書館と市立図書館の連携により発生する効果、学校の図書冊数の今後の推移、学校図書館蔵書のデータベース化の現状等の質疑が行われた。

▶市立中央図書館

実地調査の報告

予算特別委員会が行った実地調査について、報告します。

●調査先・調査内容

①特別養護老人ホーム　ヴィラ鳳凰

新しく開設されるヴィラ鳳凰の施設を見学しました。

▶説明を受ける委員

②三室戸小学校

新たに育成学級として活用されるプレハブ施設を調査しました。

▶プレハブの現況を確認する委員

③巨椋池排水機場

新しく稼動した排水機場の施設を見学しました。

▶画面を見る委員

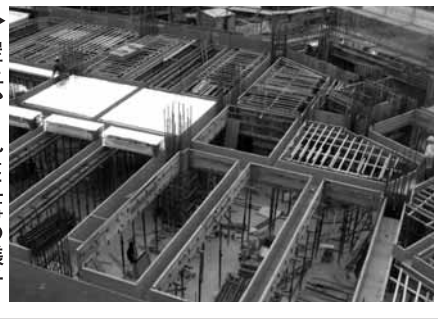
④伊勢田消防分署

伊勢田消防分署の老朽化について、確認しました。

▶消防長より説明を受ける委員

⑤大久保小学校

校舎の建て替え工事の進捗状況について調査しました。



▶屋上から見た工事の様子

⑥広野中学校

マイデスク・マイチェア事業により廃棄された机といすの状況について確認しました。

▶廃棄された机といすを調査する委員